

出雲大社

IZUMO OYASHIRO

縁結びの神様
大国主大神を祀る。



① 勢溜

一般的に日本の神社は上に登つて下り参道といふ形式ですが、勢溜から祓橋まで全国でもめずらしい下り参道となっています。



勢溜から下り参道を通って松の参道へ。

最後に銅の鳥居をくぐると

拝殿、そして国宝の本殿に。



⑧ 東と西の十九社

旧暦10月の神在用（全國的には神無用）に全國から八百萬の神々が出雲大社に集まられたときには宿泊されるのがこの十九社で、東十九社と西十九社があります。神々が滞在されている間は全ての扉が開かれます。

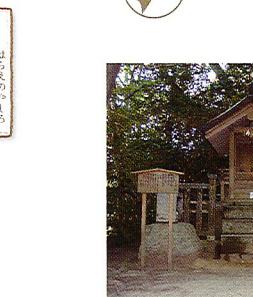
拝殿の裏に古代神殿の柱の発掘跡のしるしが付けてあります。3本の巨木を「つ」に束ねて直径3メートルの柱を作り、それを9組の柱として高さ48メートルの御本殿が建っています。古代の日本で最大の高さを誇る木造建築でした。

スサノオ神が祀られています。八岐大蛇を退治された神様です。その御子セリ姫は大国主大神の正妻となりました。この社はスピリチュアル・スポットと言われば、地元の氏子は神々が到着される稻佐浜の砂をこの社に奉納し、代わりに社にある砂を頂いて帰ります。この砂が私達を災難から守ってくれると信じられています。

⑩ 素鷦社

因幡の素戔の神話の一場面を表しています。大国主大神が背負われた袋の中には私達の苦難や悩みが入っていて、私達が身代わりに背負って下さっています。神様は幾度も試練や難事に会われましたが、その度に復活されました。このため、「復活の神」「難りの神」としても崇敬されています。また、素戔の怪我を治されたことから「医療の神」とも崇められています。

④ ムスビの御神像



⑨ 御本殿

お参りします。ここで心身を清めて出雲大社にお参りしましょう。

出雲大社に参拝する前に、この社に

拝殿の裏に古代神殿の柱の発掘跡のしるしが付けてあります。3本の巨木を「つ」に束ねて直径3メートルの柱を作り、それを9組の柱として高さ48メートルの御本殿が建っています。古代の日本で最大の高さを誇る木造建築でした。

⑩ 素鷦社

因幡の素戔の神話の一場面を表しています。大国主大神が背負われた袋の中には私達の苦難や悩みが入っていて、私達が身代わりに背負って下さっています。神様は幾度も試練や難事に会われましたが、その度に復活されました。このため、「復活の神」「難りの神」としても崇敬されています。また、素戔の怪我を治されたことから「医療の神」とも崇められています。

⑤ ご慈愛の御神像



出雲大社境内の正門です。大社町の平野部分で一番の高台にあり、南を見ると山脈を背景にした鳥居が見えます。出雲大社への参拝は「鳥居」から始まり四つの鳥居を通して参拝しましょう。

① 勢溜

一般的に日本の神社は上に登つて下り参道といふ形式ですが、勢溜から祓橋まで全国でもめずらしい下り参道となっています。



勢溜から下り参道を通って松の参道へ。

最後に銅の鳥居をくぐると

拝殿、そして国宝の本殿に。

